**利用児氏名:OO OO** (OOOO年O月O日生;O歳Oヵ月) 作成年月日: 2025年 6月 1日

担当者名:00 000

利用児及び家族の 生活に対する意向	<ul> <li>お友だちと楽しく遊びたい。(本人)</li> <li>お友だちと上手く関わって欲しい。(保護者)</li> <li>お友だちとトラブルにならないようにコミュニケーションが取れるようになって欲しい。(保護者)</li> </ul>				
総合的な支援の方針	言葉で上手く伝え、周りの人とのコミュニケーションが上手に出来るように支援します。				
長期目標 (内容・期間等)	療育者やお友だちの中で、楽しいことや分かることを増やし、気持ちを共有する経験を重ねましょう。	支援の標準的な提供時間等 (曜日・頻度、時間)			
短期目標 (内容・期間等)	楽しい活動の中で、他者とのやりとりの経験を重ね、分かる言葉を増やしましょう。	月曜日・火曜日・金曜日 15:40~ 木曜日 14:20~ 15日(50分)			

## ○支援目標及び具体的な支援内容等

項目	支援目標 (具体的な到達目標)	支援内容 (内容・支援の提供上のポイント・5領域(※)との関連性等)		達成 時期	担当者 提供機関	留意事項 (本人の役割を含む)	優先 順位
本人支援	療育者の指示が理解出来、 落ち着いて、活動に取り組 みたい。	療育者の指示が理解出来、落ち着いて活動に参加出来るように 支援します。 楽しく身体を動かし体幹を育てたり、手先を使うような制作を 取り入れるような活動を行い、支援します。	運動・感覚 健康・生活 認知・行動 言語・コミュニケーション	6ヶ月後	保育士児童発達支援管理責任者	専門的支援実施加算:月4回の頻度を想定し、 担当者とのやりとりを楽しむ。	
本人支援	療育者やお友だちとのやり 取りが、上手く出来るよう になりたい。	言葉で上手く伝え、療育者やお友だちとコミュニケーション(関わり)が出来るように支援します。	人間関係・社会性 認知・行動 言語・コミュニケーション	6ヶ月後	保育士児童発達支援管理責任者	本児が、理解出来るような声かけをしていく。 個別での取り組みが小集団でも行えるように、職 員と情報共有を行う。	
本人支援	療育者や友だちとのやり取りの 中で、言葉数を増やし、はっき りした言葉で伝えていきたい。	言葉が、はっきり言えなかった時は、正しい言葉をゆっくりわかりやすく伝え、正しく言えるように、支援します。	認知・行動 言語・コミュニケーション	6ヶ月後	保育士児童発達支援管理責任者	口の体操など取り入れながら、楽しく発声練習をしていく。 保護者に具体的な接し方など伝える時間を設けます。	
家族支援	事業所での様子や家庭での 困り感などを話し合いま す。	面談時に当事業所での様子を丁寧に伝えるとともに、家庭での様子を 聞き取り、情報を交換するとともに、保護者の方の心配ごとへの助言 を行います。 送迎が難しい場合は、レモンバームが行います。		6ヶ月後	保育士児童発達支援管理責任者	・子育でサポート加算:月1~2回の頻度を想定し、担当者との具体的なやりとりを伝えながら、家庭での実践の様子を踏まえたフィードバックを行う。 ・家族支援加算(I):月1回、当事業所での様子を伝え、次月のプログラムの税明をします。 ・家族支援加算(II):月1回の頻度で子育てに関する相談をグループワークにて実施。(レモンの会)	
移行支援	園での姿を知り、連携が図 れるようにします。	必要に応じて幼稚園を訪問し、園の連絡と当事業所の連絡内容を相互に確認し、日々の様子を聞き、三者で共通認識を図ります。		6ヶ月後	児童発達支援管理責任者 ○○○幼稚園 園長先生、 主任先生、△△先生	保護者の意向も確認しながら、三者で連携を図る点に留意する。(行事のスケジュールの共有も含む。)	
地域支援 • 地域連携	本人が利用する相談支援事 業所と連携を図ります。	相談支援事業所からの情報に基づき、具体的な場面での関わり 方の提案や関わり方のポイントについて助言を行います。		6ヶ月後	児童発達支援管理責任者 支援担当者 相談員 (〇〇〇 〇〇さん)	本人の事業所での様子を見る機会を作っていきます。	

※5領域の視点「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」

〇身体拘束について 口椅子での着席・気持ちの切り替えを促す:身体を抑えたり、別室で療育者と一緒に過ごす時もあります。 ※上記にチェックした事例に関して必要最小限の範囲内で行います。

提供する支援内容について、本計画書に基づき説明しました。

本計画書に基づき支援の説明を受け、内容を同意しました。